

第48期 中間報告書

2024年4月1日 — 2024年9月30日



AJIS

Your Partner in Retail Solutions

株式会社エイジス

証券コード：4659

前年度下期から続く受注拡大に 生産性向上が加わり、 業績予想の上方修正を発表しました。

代表取締役社長 福田 久也



Q | 事業環境と中間期の経営成績について教えてください。

A | 中間期として6期ぶりの増収・増益を果たしました。

2025年3月期中間連結会計期間（以下、当中間期）におけるわが国経済は、雇用や所得環境に一定の改善が見られたことや、インバウンド需要の増加などを背景に、緩やかな景気回復の動きを見せましたが、一方で物価高や自然災害の発生による消費マインドの停滞、円安に伴う資源および原材料価格の高騰に加え、世界的な地政学リスクの緊張状態が続き、依然として先行きは不透明な状況です。

また、当社グループの主要顧客である流通小売業界におきましても緩やかな景気回復に伴い一定の収益の押し上げ効果は見られたものの、業種・業態を超えた価格競争の激化、人件費や光熱費、物流費などの店舗運営コストの増加、個人消費における慎重な姿勢の継続により、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しています。

このような状況のもと、当社グループ全体の中間期の経営成績は、昨年10月に完全子会社化した株式会社mitorizの業績が反映されたこともあり、売上高は前中間期比23.0%の増収である16,011百万円となり、2期連続で前中間期を上回ると

ともに、中間期における過去最高を記録しました。また、営業利益は同44.6%増益の1,292百万円、経常利益は同43.1%増益の1,353百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同21.9%増益の771百万円となりました。全ての利益が前中間期を上回るのは4期ぶりのことであり、売上高も含めた増収・増益は6期ぶりのこととなります。

Q | それぞれのセグメントの状況についてお話しください。

**A | 新たな3つのセグメント全てで、
前中間期比増収・増益となりました。**

今年度より創業50周年である2028年度に向けた新たな中期経営計画『vision50』を推進するにあたり、既存事業を機能別に整理し、経営資源を集中することによって成長スピードを高めることなどを目的として、これまでのセグメントを、小売業に対し多様なサービスやソリューションを提供する「リテイルサポート事業」、メーカーに対しマーケティングソリューションを提供する「マーケティング事業」、海外における「国際事業」という新たなセグメントに再区分しました。

このうち、国内棚卸サービス、店舗における補充・改装サービスを行う「リテイルサポート事業」は、中間期の連結売上高に

占める比率が約75%を占めていますが、国内棚卸サービスにおいて、在庫数量、料率、受注店舗数がそれぞれ増加し、補充・改装サービスにおいても商品補充サービス受注数が増加したことから、前中間期比5.3%の増収(セグメント売上高:11,994百万円)となりました。

利益面でも国内棚卸サービスにおける新棚卸機器の導入効果やスケジュールの平準化が奏功し、また、前年度までサービス品質のさらなる向上のために行っていた人員の補充が経験者の増加につながったことから生産性が向上し、営業利益は前中間期比36.6%の大幅な増益(セグメント利益:1,252百万円)となりました。

また、昨年10月にグループインした株式会社mitorizの大手メーカーを中心としたフィールドマーケティング事業も好調に推移し、増収基調が続いています。同社の業績が寄与する形で「マーケティング事業」の売上高は、前中間期比671.8%の増収(セグメント売上高:2,558百万円)となり、同社株式のれん償却費を含んだセグメント営業利益も27百万円を確保しました。

さらに、海外連結子会社の実地棚卸サービス事業を中心とした「国際事業」は、進出している国・地域の経済活動が正常化したことや、既存顧客からの受注店舗数が増加したこと、新規顧客の獲得に成功したことから、東アジア、アセアン、米国の各地域の売上高は前中間期比で増加し、セグメント売上高は前中間期比12.7%増収の1,458百万円となりましたが、これには為替の影響による増収分の115百万円が含まれています。利益面においても、前中間期は13百万円の営業赤字でしたが、前年に設立したシンガポールの連結子会社の赤字はあったものの、セグメント全体では8百万円のセグメント営業利益を計上しています。

なお、中期経営計画『vision50』では5年間で収益力の向上と成長軌道への回復を目指す期間と位置づけ、成長の好循環を実現するための投資を積極的に行っていくこととしています

が、収益の柱である「リテイルサポート事業」の業績回復が見られたことは明るい材料と言えます。

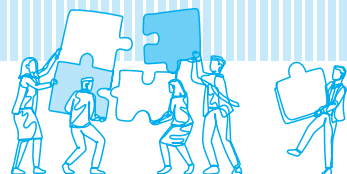
Q | 中期経営計画『vision50』の進捗をお聞かせください。

**A | 新規事業の調査を進めるとともに、
まずは人財への投資を行っています。**

棚卸の“一本足打法”から脱却し、2029年3月期に目標としている連結売上高500億円の構成比において、「リテイルサポート事業」が50%、「マーケティング事業」と「国際事業」に「新たな事業(NEXT事業開発)」を加えた事業群が50%を占めるためには、新規事業で100億円の売上高を創出することが大きな鍵となります。既存事業の“深化”とともに、将来の主力事業の創出に向けた新規事業の“進化”の取り組みとして、マーケティング事業における新たなソリューションの提供に向けた調査・開発、国際事業におけるEU、カナダ、豪州などへの進出も視野に入れた調査などを行っていますが、ここにおける成長投資については、決してM&Aやアライアンスなどを排除することなく、進めていく所存です。

また、「成長に向けた投資の5年間」でまず着手していることは、人財への投資です。会社が掲げている理念、方向性の共有のためにタウンホールミーティングを実施し、またイノベティブな環境の醸成に向けた取り組みも進めていますが、特に部門横断的に活躍できるプロフェッショナル人財、世界で活躍できるグローバル人財、そして将来の経営を担うことができる経営人財の育成に向けた取り組みをさらに強化し、会社の成長に向けた「強い意志と強い組織の形成」に努めてまいります。

創業50周年である2028年度をマイルストーンとして、100年企業を目指し、持続的な成長を確かなものとするための現在の当社の取り組みについて、株主の皆様のご理解と、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



中期経営計画 (2024-2029) “vision50” 概要

中期経営計画

“vision50”

(ビジョンゴーラル)

創業**50**周年である2028年度に
連結売上高**500**億円を達成する

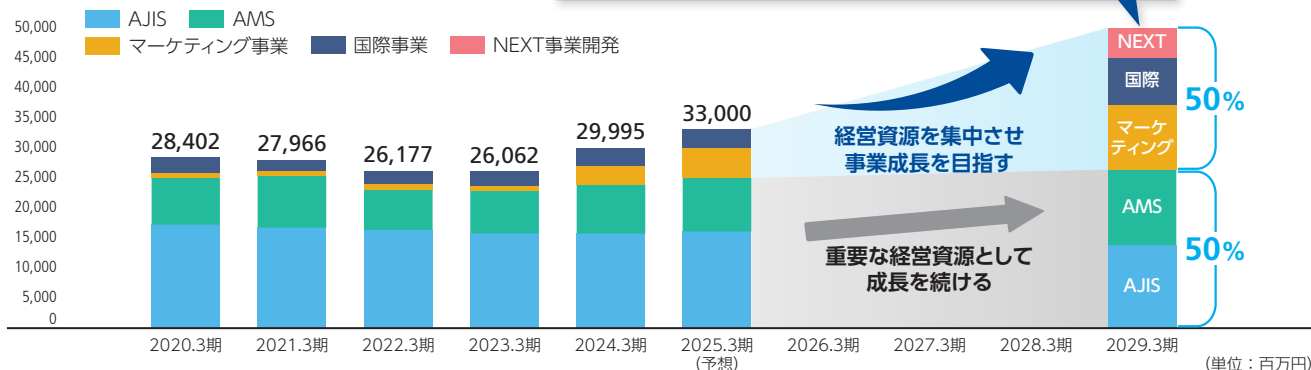
企業価値向上に
向けた取り組み

1 サービスプロバイダーから
ソリューションプロバイダーへ

2 メーカーと小売業と消費者をつなぐ
唯一無二の存在へ

進捗報告

<売上高推移>



■ 連結売上高500億円達成に向けた取り組み

リテールサポート事業 (主力・収益事業)

小売業に対し多様なソリューションを提供

対 象 株式会社エイジス、エイジスマーチャンダイジングサービス株式会社

計 画 ●AMS ▶ CAGR 約7.5%を計画

●AJIS ▶ 現状(2024年度)の売上維持で計画

国際事業 (育成・主力事業)

アジアから世界へ拡大

対 象 エイジスグループ海外各社

計 画 ●既存進出エリア ▶ CAGR 約10%を計画

(※構成比：東アジア67%、アセアン30%、USA3%)

●新規進出エリア ▶ アジアから世界への拡大(検討中)

マーケティング事業 (育成・主力事業)

メーカーに対しマーケティングソリューションを提供

対 象 株式会社mitoriz、エイジスリサーチ・アンド・コンサルティング株式会社

計 画 ●mitoriz ▶ CAGR 約10%を計画

30億円規模の新たなソリューションを提供

NEXT事業開発 (重点投資領域)

新規事業開発、M&Aや資本提携を推進

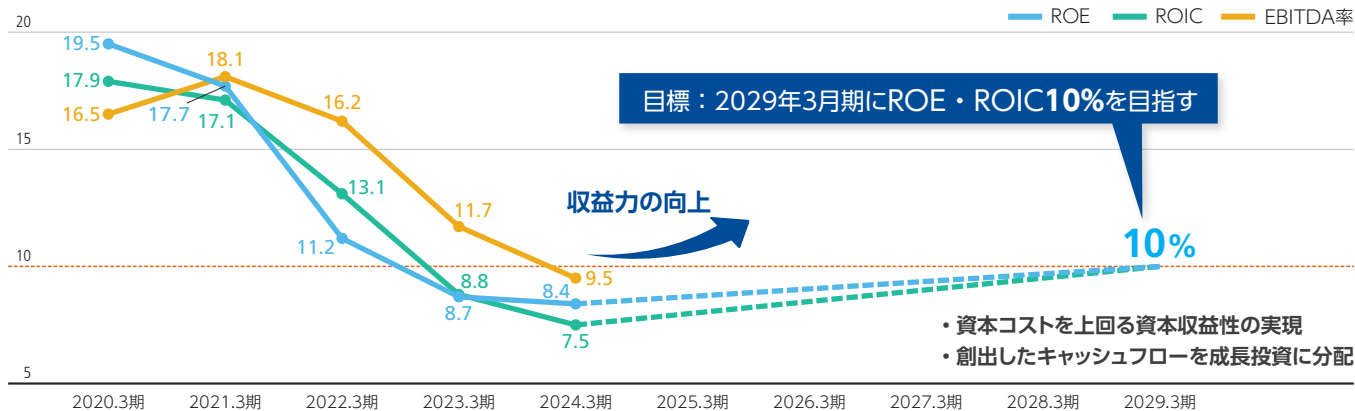
計 画 ●オーガニックグロース+インオーガニックグロースでの成長

●コア事業の深化と新規事業の進化を加速

・既存市場・既存サービス+新技術

・外部資源の活用(M&A、アライアンス)

ROE・ROIC・EBITDA率推移



成長を実現するための投資方針

人人的投資

vision50 実現に向けた人財への投資テーマ **「理念の浸透」「人財の育成」「イノベティブな環境」**

取り組みテーマ	内 容	vision50への影響
理念の浸透	企業理念をより深く社員に浸透させ、社員が団結し同方向へ向けたパワーを発揮することで、さらなる企業価値向上を目指す	全社員に適切かつ能動的な行動を促すことで vision50達成に向けた強い意志と強い組織を形成する
事業変革に対応した人財の育成	vision50の実現に不可欠な“プロフェッショナル”を育成するため、必要なスキルやナレッジ、インサイトなどの教育を行う	社員育成により個の力を最大化することで グループ売上の拡大と海外市場での事業成長を目指す
イノベティブな環境	vision50の重点投資領域として設定している「NEXT事業開発」に対し、人財育成と社内環境の整備によって新規ビジネスの創出を目指す	豊かな発想が生まれる環境を整えることで NEXT事業の創出につなげる
<ベース> 働く環境の整備	エイジズグループで働くことに喜びを持ち、力を最大限に発揮できる環境を創りだす	社員エンゲージメントと健康促進により 仕事への意欲と生産性の向上をねらう

事業投資・デジタル投資

成長のためのデジタル投資・事業投資を100億円規模にて行い、**2028年度にROE・ROIC10%**を目指す

デジタル投資		事業投資		株主還元		不測の事態に備えた事業資金	
オーガニック成長投資	20億円	M&A等	80億円	増配	配当性向40%台での増配を計画	現預金保有	2028年度には145億円程度まで(手元資金)

当中間期の業績について3つのポイント

POINT 1

連結業績は増収・増益

売上高および営業利益、経常利益
ともに上方修正予想を達成

POINT 2

全セグメントで増収・増益

3事業全てで増収増益を達成
マーケティング事業、国際事業は
前期の減益から黒字化

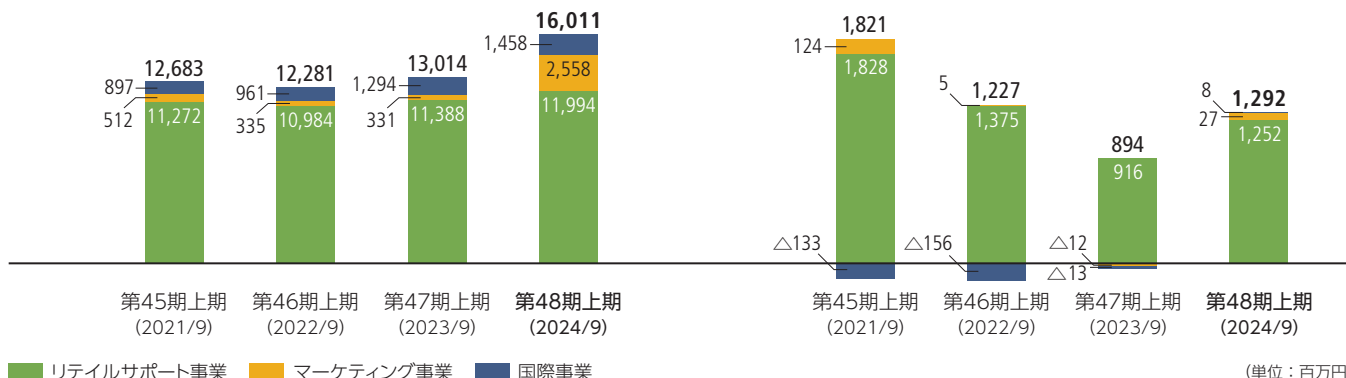
POINT 3

「リテイルサポート事業」は 大幅に増益

生産性向上施策により売上総利益が増加し、
さらにサービス料金の引き上げなどにより
大幅に増益

売上高

営業利益



ホームページのご案内

株主の皆様へタイムリーな情報開示と当社へのご理解を深めていただくため、ホームページでは様々なコンテンツをご用意し、IRおよび情報発信に取り組んでいます。

サービス

「小売り」「メーカー」「コンビニオーナー」「卸（倉庫）」のお客様別に当社のサービスを紹介しており、実際のサービスの導入方法と課題解決シナリオ、そしてお客様のご評価の声も掲載しております。



リテイルサポート事業

主なサービス内容 ≫ 国内における実地棚卸サービス事業

売上高 **11,994** 百万円

セグメント利益 **1,252** 百万円

AJIS
株式会社エイジス

AJIS
エイジスマーチャンダイジング
サービス株式会社

- 店舗棚卸** 国内における利益管理・商品管理を目的として在庫金額・数量を確定するサービス。
- 資産棚卸** 国内における企業オフィス等の情報機器、設備、什器等の固定資産の有効活用と管理を目的として資産を実地調査し、データベースを構築するサービス。
- 集中補充** 閉店後から翌日の開店までに、品切れのない売場づくりを行うサービス。
- マーチャンダイジングサービス** 陳列什器の設置から商品陳列など、新規出店または店舗改装に関わる作業を実施するサービス。
- その他** 避難所や備蓄品倉庫を定期的に訪問し、災害備蓄品の管理や保全、保守作業を代行することで、災害発生時に有効かつ円滑に使用できる状態に保つ災害備蓄品管理業務委託サービス。

マーケティング事業

主なサービス内容 ≫ 国内におけるリテイルサポートサービス事業

売上高 **2,558** 百万円

セグメント利益 **27** 百万円

mitoriz

AJIS
エイジスリサーチ・アンド・
コンサルティング株式会社

- リサーチサービス** 店舗における従業員の接客サービスレベルとストアコンディションを覆面調査員が調査するサービス。
- リアルマーケティングソリューション** ラウンダーから店舗調査、覆面調査、販促物制作・設置まで、店頭での売上を活性化させるための幅広いサポートを行うソリューションサービス。

国際事業

主なサービス内容 ≫ 海外における実地棚卸およびリテイルサポートサービス事業

売上高 **1,458** 百万円

セグメント利益 **8** 百万円

エイジスグループ海外各社

- 店舗棚卸** 海外における利益管理・商品管理を目的として在庫金額・数量を確定するサービス。
- リテイルサポート** 海外における商品の補充やメンテナンスなど売り場づくりを行うサービス。

 <https://www.ajis.jp/>

IRライブラリー

事業報告書のバックナンバーや決算短信などのIR情報をご覧になれます。



スマートフォン・タブレットでも
ご覧いただけます。



CSR

当社のCSR活動について
ご紹介します。



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.ajis.jp/ir/e-koukoku ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により公告いたします。

株主優待制度のご案内

株式会社エイジスは、株主の皆様への利益還元のひとつとして株主優待制度を実施しております。



割当基準日

9月30日

優待内容

100株以上 1,000株未満所有 お米券 3kg	1,000株以上 10,000株未満所有 お米券 5kg	10,000株以上 所有 お米券 10kg
---------------------------------	------------------------------------	-----------------------------

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。

3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ご 連 絡

株主の皆様へお届けしている「事業報告書」につきましては、地球環境に配慮する観点から、次回より当社ウェブサイトのみでの掲載とし、紙面による郵送を廃止させていただく予定です。